

4月17日の琵琶湖線における車両トラブルの原因と対策について

2023年4月17日、琵琶湖線（東海道本線）近江八幡駅で車両トラブルにより列車の遅れを発生させた事象について、原因が判明しましたので対策と合わせてお知らせします。

ご利用のお客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

2023年4月17日（月）17時17分頃

2 発生場所

琵琶湖線 近江八幡駅 構内

3 列車名

上り普通電車 8両編成

網干駅（13時45分）発 米原駅（17時37分）行

ご乗車のお客様：約200名

4 概況

17時17分頃、大阪指令所の指令員は、近江八幡駅に停車中の当該電車の車掌より、「車両の床下より発煙がある」と連絡を受けました。

そのため、当該列車は前途の運転を取りやめ、18時42分に回送電車として運転を再開しました。

※ご乗車のお客様にお怪我はありません。

5 列車影響

<運休>計13本（上り7本 下り6本 部分運休のみ）

<遅れ>上り普通電車 [加古川（14：39）発 米原（17：51）行] が83分遅れたのを最大に、計14本（上り9本、下り5本）に83分～5分の遅れ

影響人員：約13,600人

6 原因

電磁弁のコイル断線によりブレーキが緩解不良となったためです。

7 対策

電磁弁の取替えを実施しました。